

2026.4  
季刊 春号  
広報誌

# ろうさいひろば

For Healthy Aging , nagasaki rosai hospital

～私たちはヘルシーエイジングに取り組んでいます～



©SASEBO

## Contents

- ・新任のご挨拶 中央検査部長 / 会計課長
- ・医療トピックス【潜水病治療と脳の酸素中毒】
- ・新任医師・初期臨床研修医の紹介
- ・異動退職のお知らせ
- ・高校生病院体験学習会について
- ・私の趣味「サッカー観戦」
- ・スタッフインタビュー [Vol.25]

## 理念

「勤労者と地域の皆様に良質な医療を提供します」

## 基本方針

1. 人権を尊重した患者中心の医療の実践
2. チーム医療に基づいた安全で専門的な医療の推進
3. 地域に根づいた急性期医療の提供
4. 早期社会復帰への支援
5. 予防医療による健康づくりへの貢献
6. 治療と仕事の両立支援及び産業保健活動の推進



独立行政法人 労働者健康安全機構  
長崎ろうさい病院

## Salutation &gt;&gt; 新任のご挨拶

## 中央検査部長 藤木 正昭



この度、令和8年4月1日付けで長崎労災病院の中央検査部長を拝命いたしました藤木正昭と申します。長崎労災病院の皆様と一緒に働けることを大変嬉しく思っております。

私は長崎労災病院がある佐世保市の出身で、高校生まで過ごした地元を離れ、大分の専門学校で臨床検査技師のいろはを3年間学びました。卒業後、横浜労災病院で16年間、岡山労災病院で12年間、九州労災病院で7年間、病理検査や輸血検査、検体検査などの業務に従事し検査技師の経験を積んで参りました。35年ぶりに地元に戻り佐世保の町を懐かしく感じております。また一方では、検査部長という新しい役職に就くにあたり、改めてその責任の重さに身の引き締まる思いでございます。

医療を取り巻く環境は、コロナ禍以降年々厳しく今年の6月からは診療報酬改定で多少の経営改善は期待されるものの、全国労災病院の経営は依然として厳しい状況のままで当院も例外ではありません。横浜、岡山、九州の3施設で培った経験を活かしつつ、スタッフ皆様のお力をお借りしながら、患者さんはもちろん長崎労災病院にとってより良い医療サービスを生み出し提供していけるよう努力していきたいと考えております。

今後ともご指導ご鞭撻のほど、宜しく願い申し上げます。

## Salutation &gt;&gt; 新任のご挨拶

## 会計課長 内田 賢二



このたび、4月1日付けで会計課長として赴任してまいりました内田賢二と申します。

病院では、医事課一筋で勤務してまいりました。医事課長として、これまで、燕、横浜、総合せき損センター、香川、北海道中央、和歌山、愛媛、浜松、新潟労災病院を経て、このたび長崎労災病院に会計課長として転勤してまいりました。4島(北海道・本州・四国・九州)を制覇したのち、再び九州に戻ってまいり、10施設目が長崎労災病院ということになります。

九州地域での勤務は、総合せき損センター(福岡県飯塚市)に続き、2回目となりますが、会計課勤務は初めてになります。

会計課の仕事はどのような業務かと言えば、その名のとおり現預金の取り扱い、支払いの業務が中心になりますが、これに加え、病院における物品や設備の管理・保全・調達なども業務の範囲に含まれます。病院は、医療スタッフが様々な医療活動を通じて皆様の治療と健康の増進に寄与していく場所ですが、その活動を後方から支援することが会計課の使命であり役割と考えております。

不慣れな部分もたくさんありますが、新しい気持ちで長崎労災病院のために尽力する所存です。どうぞよろしく願いいたします。

## TOPICS! 医療トピックス

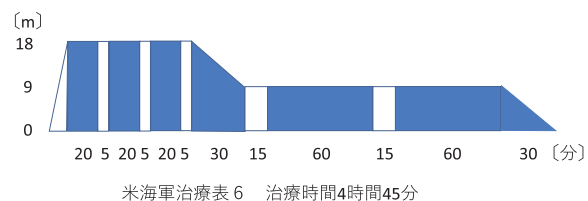
## 潜水病治療と脳の酸素中毒

臨床検査科部長  
松 永 毅

酸素はヒトが生きていく上で必要不可欠ですが、潜水や高圧酸素治療のような特殊な環境下では脳の酸素中毒（痙攣）に十分注意が必要です。

今年の2月、山口県内の海底炭鉱跡の潜水調査中に潜水調査員が亡くなったという報道がありました。水深32メートル、空気潜水ではなくて酸素濃度の高いガスを使用して酸素中毒が起こり、海中で痙攣を起こし、マウスピースが外れ、溺水に至ったと考えられています。目的が潜水調査であったため、写真撮影等に支障が出ないように、呼気ガスを排出しない、循環型呼吸回路（リブリーザー）を用いた潜水器を選択したものの、吸気ガスの設定を誤り、結果的に酸素が多くなりすぎて脳の酸素中毒である痙攣が起こったと考えられます。痙攣が海中で起こっているときに慌てて上昇すると、肺の過膨張により圧外傷を起こす危険がありますので、慌てずに吸気ガスを空気に切り替えて酸素分圧を下げ、痙攣が治った後に気道を確保しつつゆっくり上昇する必要があり、本人はもちろん、一緒に潜るバディやサポートダイバーにも高度な知識、技能が求められます。

生還例を紹介します。海上自衛隊潜水医学実験隊勤務の時、地方の自衛隊病院から治療の相談を受けたことがありました。民間人の水中カメラマンが酸素中毒を起こしたものの上記の手順でバディとともに帰還、自衛隊地区病院に搬送後、治療をどうしようかという相談でした。動脈ガス塞栓症の可能性もあるので米海軍治療表6という再圧治療（水深18m相当）を実施、酸素中毒の再発リスクや肺の一部に肺炎や出血のようなダメージがあったものの、呼吸器内科の医官が気胸に備えて患者とともにタンクに入り、大型の再圧タンクで安全に治療できました。米海軍治療表6は潜水病に対する標準的な治療表で、60フィート18mに加圧し、酸素を吸入します。酸素中毒が発生しないよう、水深18mでは酸素治療20分毎に5分間の空気呼吸を、水深9mでは酸素治療60分毎に15分の空気呼吸を行い脳を休ませるようになっています。酸素吸入中に痙攣が発生した場合は、直ちに介助員がマスクを外して空気呼吸に切り替え、痙攣が治まったあと15分間隔を空けて、酸素治療を再開します。一人用治療タンクではこのような再圧治療中の酸素中毒への対応は極めて困難なので、そもそも酸素中毒が起らないよう、治療圧力は水深10m相当以下、治療時間は60分と厳格に制限されています。



長崎労災病院には一人用の高気圧酸素治療装置があり、日々活躍していますが、潜水病や同時多発的な一酸化炭素中毒には対応できませんので、他の医療機関、特に海上自衛隊佐世保衛生隊の再圧タンクとの連携が不可欠と考えています。ちなみに、自衛隊の再圧タンクは保険医療機関ではないため、一旦は全額自己負担ですが、療養費の立替え払い請求が可能なので、所属する健康保険組合等に相談していただくことになります。



# 新任医師・初期臨床研修医の紹介

令和8年4月1日付け採用

## 麻酔科



うらべ しげひこ  
**卜部 繁彦**

福岡大学 H22.3卒

ペインクリニック研修を経て2年ぶりに戻ってまいりました。麻酔科として安全な周術期管理と疼痛診療に力を尽くし、地域に貢献してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

## 泌尿器科



いとう ひでのり  
**伊藤 秀徳**

久留米大学 H27.3卒

佐世保での勤務は4年目になります。労災病院は初めてで、至らぬ点もあるかと思いますが、精一杯頑張りますのでよろしくお願いいたします。

## 消化器内科



いしだ さとし  
**石田 智士**

長崎大学 H28.3卒

佐世保出身です。生まれ育った故郷で働けることを嬉しく思っております。消化器内科医として、患者さんの気持ちに寄り添った診療を心がけてまいります。よろしくお願いいたします。

## 整形外科



つるもと なおじ  
**弦本 直治**

長崎大学 R2.3卒

久しぶりに労災病院へ戻って働くことになりました。再び県北の皆さんのお力になれるよう精一杯尽力いたします。どうぞよろしくお願いいたします。

## 外科



おの としあき  
**小野 稔晃**

久留米大学 R4.3卒

この度、労災病院に着任いたしました。外科5年目の小野稔晃です。至らぬ点多いかと存じますが、日々研鑽を重ね診療に尽力してまいります。ご指導のほどよろしくお願いいたします。

## 整形外科



すが まさはる  
**菅 正明**

長崎大学 R5.3卒

佐世保に初めて赴任します。地域の医療の役に立てるように努めて参ります。何卒よろしくお願いいたします。

整形外科



つのだ かんた  
**角田 寛太**

産業医科大学 R5.3卒

周囲への感謝を忘れず、日々精進していきたいと思ひます。

初期臨床研修医

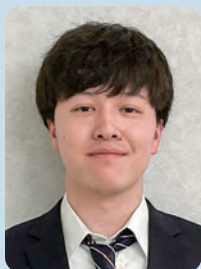


くろだ ひなこ  
**黒田 陽南子**

産業医科大学 R8.3卒

北九州の産業医大から参りました。初期研修医1年目の黒田陽南子と申します。地元である佐世保の医療に貢献できる機会をいただき大変嬉しく思ひます。明るく精一杯がんばります。

初期臨床研修医



とくだ えいじ  
**徳田 瑛士**

徳島大学 R8.3卒

この度初期臨床研修医として働かせていただくことになった徳田瑛士です。皆様に信頼していただけるように日々精進して参りますので温かく見守っていただけると嬉しいです。

異動・退職のお知らせ 3月15日付け退職

役職	氏名
泌尿器科(泌尿器科部長)	丸田 大

異動・退職のお知らせ 3月31日付け退職

役職	氏名	役職	氏名
内科(内科部長)	池田 徹	脳神経外科(副院長)	北川 直毅
内科(第三消化器内科部長)	卜部 繁俊	泌尿器科(泌尿器科医師)	前川 暢秀
外科(外科副部長)	笠 伸太郎	麻酔科(麻酔科医師)	岩永 浩貴
整形外科(脊椎外科部長)	今井智恵子	初期臨床研修医	谷口慎一郎
整形外科(整形外科医師)	横田 菜	初期臨床研修医	江口 哲司
整形外科(整形外科医師)	水野 聖来		



## 高校生病院体験学習会を行いました!!



令和8年2月に「高校生病院体験学習会」を行いました。

本学習会は、将来佐世保市で医療従事者として働く人材を増やすことを目的とし、佐世保市医師会主催で毎年行われています。今年、当院では医師・看護師・薬剤師・放射線技師・臨床検査技師・理学療法士を目指す高校生16名を受け入れ、それぞれの職種にわかれて、様々な体験をしてもらいました。実際に行われている手術や検査の見学、入院患者さんへ足浴などを行う看護体験、調剤業務体験などができたりと貴重な経験となったようです。

当院で実際の医療現場を見学・体験してもらったことが、医療従事者を目指す後押しになればと思います。



## 接遇に関する標語が決定しました!!



2025年度に当院で行った患者さんへのアンケート結果を踏まえて、接遇向上を目的とした標語を院内で募集しました。応募があった50作品のうち、職員と一般の方からの投票の結果、3作品が選出されました。

よりよい接遇を目指して、これらの標語を意識しながら職員一同日々の業務に取り組んでいきます。



話し方 ひとつで変わる 思いやり



説明は 優しい声で 丁寧に



笑顔から 広がる医療の あたたかさ



## Column

\ 私の趣味 /

## 『サッカー観戦』

患者サポートセンター  
米村 茉理

私の趣味は「サッカー観戦」です。

今まで、これといった趣味がなかった私が、ここ1年で没頭しているのがサッカー観戦です。特にV・ファーレン長崎の応援に没頭しています。息子がサッカーをしているため、休日には応援に行くことも多かったのですが、ルールもわからず、ただ「頑張れ～。ナイス～。」くらいの応援をするような感じでした。1年前のある日、息子から「V・ファーレン長崎の試合を観に行こう!!」と言われ、初めて観戦に行きました。スタジアムで観るサッカーの試合は、すごい迫力で圧倒されました。これがきっかけとなり、家族で試合を観に行くことも増え、気づけば毎日サッカーの動画を観るまでになりました。

日々、仕事や家事に疲れることもありませんが、息子がサッカーをしている姿を見たり、V・ファーレン長崎を応援することで、楽しく気分転換が図れるようになりました。今年、V・ファーレン長崎はJ1に昇格しました。これからたくさん応援に行こうと思います。



## Topics

スタッフインタビュー

vol.25

今回は、6西病棟師長 弥富 裕子さんにインタビューしました。

Q1

6西病棟はどのような病棟ですか？

特色や混合病棟として大変なことがあれば教えてください。

A

6西病棟は、外科・泌尿器科・形成外科・内科の混合病棟です。手術を受ける患者さんが多い一方で、化学療法や慢性疾患の患者さんも入院されます。看護師は、幅広い知識や技術が必要となり、病棟に所属する皮膚排泄ケア認定看護師やがん化学療法認定看護師を中心に、患者さんへの看護を実践しています。また、手術や治療で回復する患者さんだけではなく、長い治療の経過をたどり、終末期を迎える患者さんもいらっしゃるため、忙しい中でも心のケアも大切な看護となります。このような幅広い看護を実践することが大変であり、やりがいにつながる病棟です。



Q2

看護師として、患者さんやそのご家族と向き合うときに大切にしていることや心がけていることはありますか？

A

患者さんは、様々な社会的背景を持つ方が増えています。看護師は、患者さんを取り囲む医療関係者の架け橋となる存在だと考えており、患者さんやご家族の思いを知り、その人にとってよりよい看護とは何なのか、どのようなサポートが必要なのかを考え、多職種と協働しています。

Q3

弥富師長さんの休日の過ごし方やオンとオフを切り替えるために日々意識していることについて教えてください。

A

休日は、約8年続けているヨガや一人旅をしています。コロナ前には一人で国内外に出かけていたので、今はどこか遠くに行きたくてうずうずしているところです。オンとオフの切り替えは、日々の通勤が40分程かかるので、運転中にいろいろと考えていると、家に着くころには自然と忘れていきます。またヨガでは、スマホを手放し、自分自身と向き合う時間が取れるため、気分転換にもなっています。

今回は6西病棟の弥富師長へインタビューを行いました。

様々な病状の患者さんが入院されるため幅広い知識が求められる混合病棟の中で、患者さん一人ひとりの背景や思いに寄り添うことを大切に、その人にあったサポートができるよう努めていらっしゃることに感銘を受けました。看護師という仕事のやりがいや充実した休日が、弥富師長の働く活力になっていると感じました。

# 各科外来診療担当医師一覧表

2026.4.1 現在

診療科	曜日	月		火		水		木		金	
		午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
一般内科	新患	本田章子 石田智士		吉村映美 延末謙一		後藤貴史		鍬塚磨呂		山領 豪	
	再診	山領 豪	後藤貴史	石田智士		延末謙一 鍬塚磨呂		本田章子 肝臓専門外来 (予約)		後藤貴史 吉村映美	
循環器内科	新患	山佐稔彦		瀬戸 裕		山佐稔彦		山佐稔彦		瀬戸 裕	
	再診	山佐稔彦		瀬戸 裕		山佐稔彦		山佐稔彦		瀬戸 裕	
外科	新患	前田茂人 小野稔晃		前田茂人 吉野恭平		岩田 亨 橋本敏章		岩田 亨 吉野恭平		橋本敏章 小野稔晃	
	再診	前田茂人		前田茂人 吉野恭平		岩田 亨 橋本敏章		岩田 亨 吉野恭平		橋本敏章 小野稔晃	
乳腺・甲状腺外来			前田茂人 ○ (要確認)			岩田 亨 ○ (要確認)				橋本敏章 ※マンモグラフィ 検診のみ	
整形外科	新患	鳥越雄史 中山宗郎 樋口尚浩		徳永敬介 磯部優作 角田寛太	馬場秀夫 (セカンドオピニオン) (第4週のみ)	徳永敬介 貞松毅大 菅 正明		馬場秀夫 田中奈津美 弦本直治		神崎衣里 豊島高正 松崎宏生	
	再診	馬場秀夫 田中奈津美		貞松毅大 神崎衣里 樋口尚浩		鳥越雄史 中山宗郎 豊島高正		磯部優作 松崎宏生 角田寛太		徳永敬介 弦本直治 菅 正明	
形成外科		今泉敏史		今泉敏史		今泉敏史				今泉敏史	
脳神経外科		(再診のみ)		高平良太郎		応援医師		近松元気		(再診のみ)	
皮膚科						(非常勤)				(非常勤)	
泌尿器科		伊藤秀徳 スッキリ 排尿外来		伊藤秀徳		酒井英樹 スッキリ 排尿外来		伊藤秀徳		伊藤秀徳 スッキリ 排尿外来	
眼科						長崎大学 (非常勤)				長崎大学 (非常勤)	
耳鼻咽喉科				長崎大学 (非常勤)				長崎大学 (非常勤)			
リハビリテーション科						田中奈津美 (完全予約制)				田中奈津美 (完全予約制)	
放射線科		川原康弘				川原康弘		川原康弘			
麻酔科		大路奈津子 卜部繁彦		大路牧人 卜部繁彦		大路牧人 大路奈津子		大路牧人 大路奈津子		大路牧人 大路奈津子	

※ ○ (要確認)：予約のご相談が可能です。外科外来にご確認ください。



独立行政法人 労働者健康安全機構

## 長崎ろうさい病院

発行責任者 酒井 英樹

〒857-0134 佐世保市瀬戸越2丁目12番5号  
**TEL 0956-49-2191 FAX 0956-49-2358**  
[www.nagasakih.johas.go.jp](http://www.nagasakih.johas.go.jp)

**受付時間** 新患／午前 8:15～午前 11:00  
 再来／午前 8:15～午前 11:00

**休診日** 土・日曜・祝日 (振替休日を含む)・国民の休日  
 年末年始 (12月29日～1月3日)

※救急患者はこの限りではありません。

### 交通案内図



- 【バス】 西肥バス「矢峰経由袖木行」もしくは「矢峰行」に乗車【労災病院入口】にて下車
- 【タクシー】 佐世保駅より約20分 左石駅より約3分
- 【MR松浦鉄道】 左石駅・泉福寺駅より徒歩約10分